

平成23年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年3月15日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 銚子丸  
コード番号 3075 URL <http://www.choushimaru.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀地速男

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 大塚健一

四半期報告書提出予定日 平成23年3月29日

TEL 043-350-1266

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年5月期第3四半期の業績(平成22年5月16日～平成23年2月15日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年5月期第3四半期	13,230	8.9	886	15.9	913	15.7	456	5.5
22年5月期第3四半期	12,148	8.8	764	60.9	790	52.2	432	54.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年5月期第3四半期	157.27	—
22年5月期第3四半期	149.12	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年5月期第3四半期	6,876	3,868	56.3	1,332.29
22年5月期	6,339	3,451	54.4	1,188.59

(参考) 自己資本 23年5月期第3四半期 3,868百万円 22年5月期 3,451百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年5月期	—	0.00	—	13.50	13.50
23年5月期	—	0.00	—		
23年5月期 (予想)				13.50	13.50

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年5月期の業績予想(平成22年5月16日～平成23年5月15日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,250	4.7	982	4.4	1,008	3.1	525	0.0	181.13

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】3ページ「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注)簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年5月期3Q 2,903,600株 22年5月期 2,906,300株

② 期末自己株式数 23年5月期3Q 238株 22年5月期 80株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年5月期3Q 2,903,437株 22年5月期3Q 2,903,520株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「(3) 業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. その他の情報 .....	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
(第3四半期累計期間) .....	6
(第3四半期会計期間) .....	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

## 1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益が回復基調にあるなど一部明るい兆しはあるものの、デフレ状況の継続に加え為替相場の変動に対する警戒感が根強く、依然として先行きの不透明感が払拭されない状況となっております。個人消費につきましても、雇用環境や所得環境が本格的な回復には至らず、依然として生活防衛意識や節約志向が続いております。

このような状況において当社は、経営理念「私達の『真心』を提供しお客様の『感謝と喜び』を頂くことを私達の使命と致します」の下、「良質な食材をより安く、よりおいしく」というメニュー開発や仕入ルートの新規開拓など「おいしい舞台」をさらに深化させるとともに、「親切・思いやり・誠実さ」のある接客サービスにより「おもてなしの舞台」を追求するなど、競合他社とは一線を画した商品・サービスの差別化に努め「すし銚子丸」ブランドの一層の強化を図りました。

店舗開発につきましては市場規模、ならびに顧客ニーズを勘案し、第3四半期累計期間において大井店（平成22年12月）及び木更津店（平成23年1月）ほか2店舗を新規に出店し、当第3四半期累計期間末の店舗数は75店舗となりました。

販売促進につきましては、「今年も全てに感謝」「寒空に月一輪」等、時節の旬の食材によるイベントの開催およびセットメニュー・サイドメニューの充実を図り、お客様の来店動機の高揚に努めてまいりました。

以上の結果、売上高132億30百万円（前年同四半期比8.9%増）、営業利益8億86百万円（同15.9%増）、経常利益9億13百万円（同15.7%増）、特別損失として資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額61百万円を計上した結果、四半期純利益4億56百万円（同5.5%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当第3四半期会計期間末における資産は、前事業年度末に比べ5億36百万円増加し、68億76百万円（前事業年度末比8.5%増）となりました。主な要因は、次のとおりです。

流動資産は、前事業年度末に比べ3億58百万円増加し、38億01百万円（同10.4%増）となりました。増加の主な内訳は、現金及び預金の増加3億75百万円であります。

固定資産は、前事業年度末に比べ1億78百万円増加し、30億75百万円（同6.2%増）となりました。これは主に、新規出店による店舗設備、敷金及び保証金の増加によるものであります。

##### (負債・純資産)

当第3四半期会計期間末における負債は、前事業年度末に比べ1億19百万円増加し、30億08百万円（前事業年度末比4.1%増）となりました。主な要因は、次のとおりです。

流動負債は、前事業年度末に比べ59百万円減少し、23億30百万円（同2.5%減）となりました。減少の主な内訳は、短期借入金が2億10百万円増加した一方で、未払金1億02百万円、未払法人税等1億25百万円がそれぞれ減少したことによるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べ1億79百万円増加し、6億77百万円（同35.9%増）となりました。これは主に、当第1四半期会計期間より資産除去債務に関する会計基準を適用し資産除去債務が1億52百万円増加したことによるものであります。

純資産は、前事業年度末に比べ4億17百万円増加し、38億68百万円（同12.1%増）となりました。これは主に、四半期純利益4億56百万円を計上した一方で、第33期の期末配当金39百万円を計上したことによるものであります。

#### ② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末と比較して3億75百万円増加し、29億71百万円となりました。

当第3四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は4億71百万円となりました。主な内訳は、税引前四半期純利益8億52百万円、減価償却費1億83百万円による資金の獲得、法人税等の支払額5億33百万円による資金の使用であります。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は2億36百万円となりました。主な内訳は、新規出店による有形固定資産の取得1億89百万円、敷金及び保証金の差入による支出49百万円であります。

##### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は1億40百万円となりました。主な内訳は、短期借入れによる純収入2億10百万

円、配当金の支払39百万円などであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、「すし銚子丸」業態に事業領域を集中し、東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県の一都三県に出店地域を特化して新規出店を推進してまいります。

第34期(平成22年5月16日から平成23年5月15日まで)の新規出店数は、通期で4店舗を計画しておりますが、当第3四半期会計期間末までに既に4店舗を出店済みであり、このほか平成23年4月に1店舗出店を予定し、通期で新規出店数は5店舗となる見通しであります。既存店の改装は通期で7店舗を計画しており、これに伴う修繕費用の増加を見込んでおります。以上のような状況から、通期の業績見通しにつきましては、売上高172億50百万円、営業利益9億82百万円、経常利益10億8百万円、当期純利益5億25百万円を見込んでおり、現時点で変更はございません。

但し、当社では、新規出店に際しては、店舗の採算性を重視しているため、計画した店舗数に見合った出店候補地を十分に確保できない場合や、食材に係る安全面の問題、市況変動等が生じた場合には、当社の業績見通しに影響を与える可能性があります。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① 簡便な会計処理

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

② 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等合計に含めて表示しております。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(資産除去債務)

第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、営業利益及び経常利益は、それぞれ6,888千円減少し、税引前四半期純利益は68,651千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は142,598千円であります。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成23年2月15日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年5月15日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,408,600	3,032,783
売掛金	2,485	4,809
原材料及び貯蔵品	164,772	150,322
預け金	55,622	36,301
その他	169,827	218,990
流動資産合計	3,801,308	3,443,208
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,091,342	987,252
その他(純額)	571,195	532,236
有形固定資産合計	1,662,538	1,519,488
無形固定資産		
	21,490	20,895
投資その他の資産		
敷金及び保証金	743,331	718,671
建設協力金	343,595	372,784
その他	305,448	265,865
貸倒引当金	△1,078	△1,078
投資その他の資産合計	1,391,297	1,356,243
固定資産合計	3,075,326	2,896,627
資産合計	6,876,635	6,339,836
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	858,051	893,283
短期借入金	330,000	120,000
未払金	690,059	792,764
未払法人税等	199,603	324,991
引当金		
賞与引当金	17,400	67,000
その他の引当金	18,213	17,412
引当金計	35,613	84,412
その他	217,571	174,832
流動負債合計	2,330,898	2,390,285
固定負債		
資産除去債務	152,267	—
長期未払金	359,700	359,700
その他	165,644	138,764
固定負債合計	677,611	498,464
負債合計	3,008,509	2,888,749

(単位:千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成23年2月15日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年5月15日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	315,950	315,950
資本剰余金	236,829	236,829
利益剰余金	3,315,950	2,898,535
自己株式	△560	△176
株主資本合計	3,868,169	3,451,138
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△43	△52
評価・換算差額等合計	△43	△52
純資産合計	3,868,125	3,451,086
負債純資産合計	6,876,635	6,339,836

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成21年5月16日 至平成22年2月15日)	当第3四半期累計期間 (自平成22年5月16日 至平成23年2月15日)
売上高	12,148,561	13,230,645
売上原価	5,049,730	5,433,806
売上総利益	7,098,830	7,796,839
販売費及び一般管理費	6,334,100	6,910,165
営業利益	764,730	886,674
営業外収益		
受取利息	5,497	4,678
協賛金収入	17,245	18,772
その他	11,586	11,078
営業外収益合計	34,329	34,529
営業外費用		
支払利息	3,596	4,204
現金過不足	4,508	2,722
その他	877	510
営業外費用合計	8,982	7,437
経常利益	790,076	913,766
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	61,763
特別損失合計	—	61,763
税引前四半期純利益	790,076	852,003
法人税等合計	357,114	395,390
四半期純利益	432,962	456,612



(第3四半期会計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期会計期間 (自 平成21年11月16日 至 平成22年2月15日)	当第3四半期会計期間 (自 平成22年11月16日 至 平成23年2月15日)
売上高	4,309,734	4,556,374
売上原価	1,791,175	1,865,716
売上総利益	2,518,558	2,690,658
販売費及び一般管理費	2,189,524	2,342,266
営業利益	329,034	348,391
営業外収益		
受取利息	1,756	1,455
協賛金収入	1,333	4,374
金券未使用益	4,163	1,485
その他	1,403	103
営業外収益合計	8,657	7,418
営業外費用		
支払利息	1,246	1,343
現金過不足	2,154	985
その他	34	485
営業外費用合計	3,436	2,814
経常利益	334,256	352,996
税引前四半期純利益	334,256	352,996
法人税等合計	151,083	163,288
四半期純利益	183,172	189,707

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成21年5月16日 至 平成22年2月15日)	当第3四半期累計期間 (自 平成22年5月16日 至 平成23年2月15日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	790,076	852,003
減価償却費	158,114	183,189
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	61,763
建設協力金と相殺した地代家賃・賃借料	30,140	32,851
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,041	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	△55,940	△49,600
受取利息及び受取配当金	△5,506	△4,687
支払利息	3,596	4,204
売上債権の増減額(△は増加)	4,500	2,324
たな卸資産の増減額(△は増加)	31,448	△14,450
仕入債務の増減額(△は減少)	60,358	△35,232
未払消費税等の増減額(△は減少)	9,854	△14,277
その他	△51,212	△10,708
小計	974,389	1,007,379
利息及び配当金の受取額	2,720	1,546
利息の支払額	△3,670	△4,221
法人税等の支払額	△300,323	△533,641
営業活動によるキャッシュ・フロー	673,116	471,063
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△413,029	△413,715
定期預金の払戻による収入	411,712	413,029
有形固定資産の取得による支出	△237,652	△189,698
無形固定資産の取得による支出	△4,183	△2,233
長期前払費用の取得による支出	—	△49
敷金及び保証金の差入による支出	△36,070	△49,000
敷金及び保証金の回収による収入	4,898	5,590
建設協力金の支払による支出	△17,000	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△291,326	△236,076
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	400,000	600,000
短期借入金の返済による支出	△191,125	△390,000
リース債務の返済による支出	△21,221	△30,466
自己株式の取得による支出	—	△383
配当金の支払額	△38,716	△39,005
財務活動によるキャッシュ・フロー	148,937	140,143
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	530,727	375,130
現金及び現金同等物の期首残高	1,926,415	2,596,519
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,457,143	2,971,649

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期累計期間(自 平成22年5月16日 至 平成23年2月15日)  
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期累計期間(自 平成22年5月16日 至 平成23年2月15日)  
該当事項はありません。